

第 10 章 鉱 害

1 概 要

本市の石炭産業は、江戸時代末期、片寄平蔵らによって採掘が開始されて以来、最盛期の昭和 26 年には、83 炭鉱、2 万 3 千人の鉱員を擁し、年産 300 万トン前後の採炭量を誇っていました。

しかし、石油エネルギーの普及により衰退の一途をたどり、昭和 51 年 9 月、常磐炭礦(株)西部鑛業所の閉山により終わりを告げました。

本市では、このように広く石炭の採掘が行われたため、浅い坑道の崩落によって陥没する、いわゆる浅所陥没の鉱害が毎年発生しており、国県等の関係機関と連携して復旧工事を実施しています。



2 浅所陥没応急復旧工事

浅所陥没応急復旧工事の年度別実状況及び、平成 23 年度に実施した浅所陥没応急復旧工事の施工状況は、次のとおりです。

表 10-2-1 浅所陥没応急復旧工事の年度別実施状況

年度	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
箇所数	4	4	4	7	7	2	5	4	3	80
工事業費 (千円)	13,252	4,103	1,094	7,113	4,901	665	2,197	1,150	3,957	23,337

表 10-2-2 平成 23 年度 浅所陥没復旧工事

(単位:千円)

No.	所在地	被害箇所	主な内容	事業費
1	勿来町白米広町外(5箇所)	農地	土工	1,876
2	勿来町白米鳴神外その1(13箇所)	農地等	土工	3,215
3	勿来町白米鳴神外その2(6箇所)	農地	土工	861
4	勿来町白米後光前外(3箇所)	農道等	土工	483
5	瀬戸町山下地内その1(20箇所)	農地	土工	4,650
6	瀬戸町山下地内その2(1箇所)	農地	土工	200
7	瀬戸町川原田地内(1箇所)	農地	土工	336
8	山田町上安行地内(1箇所)	農地	土工	1,003
9	沼部町地内(1箇所)	宅地	土工	389
10	常磐上湯長谷町森地内(1箇所)	宅地	土工	210
11	遠野町滝字山崎外(6箇所)	農地等	土工	1,176
12	遠野町滝字山王外(5箇所)	農地等	土工	1,145
13	遠野町滝字おもて外(5箇所)	農地等	土工	838
14	遠野町滝字山崎地内その1(3箇所)	農地等	土工	420
15	遠野町滝字山崎地内その2(1箇所)	宅地	土工	1,260
16	遠野町滝字順坂地内(1箇所)	農地	土工	707
17	小川町高萩字山ノ入地内(1箇所)	農地	土工	336
18	好間町北好間字三反田地内その1 (1箇所)	宅地	土工	636
19	好間町北好間字三反田地内その2 (1箇所)	宅地等	土工	1,733
20	好間町上好間字田代地内(1箇所)	道路	土工	471
21	田人町旅人道伝外(3箇所)	農地	土工	1,392